



File
03

今治木工株式会社

- 所在地：中津市大字大塚672-3
- TEL：0979-24-0938
- 事業内容：ハウスメーカー等の間仕切り、内装部材製作、流し台の部材作りなど
- 雇用人数：健常者22人 障がい者4人

- 沿革：1945年 創業
- 1983年 今治木工有限会社に変更
- 1996年 現在の今治木工株式会社へ

「働きたい」という気持ちを汲んで 障がい者と健常者の「共生」

現在の障がい者の雇用状況等について

■ 雇用している障がい者の状況

知的障がい者1人、聴覚障がい者3人。聴覚障がい者の3人のうち2人は夫婦で、全員が自立した生活を送っている。

初めて障がい者採用したのは1984年で、聴覚障がいを持つ人だったが、木工に対する基礎知識を持っていたうえ、現在も勉強を続ける努力家。健常者とそのほかの障がい者との橋渡しの役目も担ってくれるなど、社内でも中心的存在になっている。

■ どんな仕事をしているか

パネルの裁断から組み立て加工まで、すべての工程で、障がい者と健常者が同等に仕事をこなしている。

中には障がい者に完全にまかせきっている工程もある。

わが社では健常者だから、障がい者だからといって作業に差があるということもなく、賃金も能力のある人ならば平等。



障がい者と健常者が力を合わせて作業を進める



障がい者を雇用して良かった点

同社には大変危険な作業が多くあるため、耳が聞こえなくて危なっかしいかと思ったが、とてもしっかりしているので、今では安心して任せている。

また高齢者が多い職場なので、力仕事などを積極的に手伝ってくれて助かる。木工に対する知識と技術は社内でも高い評価を受けている障がい者もいる。

コメント

■ 障がい者指導担当者

宮本 むつみさん

パネルの組み立てから仕上げを一緒に担当していますが、どうしても力仕事になると小野さんの助けを必要とする場面が出てきます。

できない部分をお互いに補い合い、支えあっているから今の仕事が順調に進んでいると思います。



■ 現職障がい者

小野 威さん

この会社は年齢層が広いので、いろいろな話を聞くことができ勉強になります。雰囲気も和気あいあいとしていて働きやすいです。

今は原動機付自転車の免許取得を目指して昼休み等に勉強していますが、皆さんが応援してくれ、勉強を教えてくれるので頑張れます。



Let's Open up
the future together
OITA
2008

プロセス

1 STEP

■ 雇用スタート時の状況・雇用を始めようと思ったきっかけ

ある日、一人の聴覚障がい者が「ここで働きたい」と突然やってきた。わが社は木工を扱う会社なので危険な作業が多く、耳の不自由な障がい者には無理だと思い、はじめは断った。しかし、再び手話のできる人とともにやってきてぜひここで働きたいという熱意に押されて雇用した。その後も、この人の紹介で聴覚障がい者を受け入れた。またハローワークを通じて1年ほど前から知的障がい者を受け入れている。



2 STEP

■ どんな問題点にぶつかったか

それまで健常者しかいなかったので、会社の受け入れ態勢が整っていなかった。手話ができる従業員がいるわけでもなかったため、仕事のうえでも、プライベートでもコミュニケーションが図れなかった。同社は木材の裁断や打ちつけなど、すべての作業が危険との背中合わせなので、怪我をしなければいいかと、気が気でなかった。

3 STEP

■ それに対してどんな改善策を取り、工夫をしてきたか

① うまくいっているところ

わが社の従業員は高齢者が多く、全員、面倒見がよかったことで、だんだん意思疎通ができるようになった。雇用された障がい者も木工の基礎知識があったこと、そしてこの仕事が好きということで熱心に勉強したため、身振り手振りで意思疎通ができるようになった。お互いが歩み寄ることで可能になったコミュニケーションのとり方だと思う。



危険な作業が多いので機械にはパトライトが設置されている

② 現在の社内でのコミュニケーション

会社の敷地内で年に1、2度、焼肉パーティーを開催して、従業員が全員で交流できる場を設けている。また個人的に障がい者の人たちと酒を酌み交わしながら、会社ではなかなか聞けないさまざまな不満やこちらからの要望など、本音で語り合う場を設けるようがけている。

③ サポート体制

危険な機械が多いので、パトライトなどを設置して、機械が動いていることなどを知らせるように設備を整えている。

社内環境

聴覚障がい者や知的障がい者でも作業が安全に、そして効率よく進められるよう、板を打ち付ける機械を開発、設置している。

また、会社施設内にて年数回の焼肉パーティで交流を深めている。

